

小椋範彦

受賞教員インタビュー

蒔絵の伝統技法に新しい表現を吹き込み
日本伝統工芸展東京都知事賞を受賞。



Photo by Yuri Gomi

受賞作品について

私の蒔絵は壁面でも立体でも、古典的な技法を踏まえながら、草花や風景などの自然を表現するものがほとんどで、材料や明暗の対比をつけた表現で構成しています。今回、賞をいただいた「割貝蒔絵桜花文飾箱」は、用途にはこだわらず飾り箱として制作した作品で、割貝技法と引掻き技法（蒔絵

をした後に針などを使って引掻いて絵を描く技法）で桜の花を構成し、筆のタッチを活かし、色漆を使って滲み、暈しのような絵画表現をした蒔絵なのです。

この表現に至ったきっかけは、三年前に個展の準備のために行ったイタリアへの取材旅行です。祭壇画、風景を中心に初期ルネサンスの画家ピエロ・デラ・フランチェスカの作品を観て回りながらローマ、

フィレンツェ、アレッツォ、サンセポルクロ、アッシジを訪れました。

アッシジの南にトレーヴィという町があるのですが、その風景に魅了されて蒔絵パネルを制作しましたが、一瞬の印象を大切に金、銀粉を蒔き詰めたところにトレーヴィの風景を引掻き、色漆で滲み、暈しを使って描いているときに直に感情が伝わっていくのを感じ、夢中で描きました。

この数年、私は図案を転写してそのとおりに蒔絵にする方法に物足りなさを感じて、何か「味」のようなものを模索していましたので、自分の気持ちこそ素直に伝えることのできる引掻きを活かした表現は、とても新鮮に感じました。今回、この時の感覚を活かし、今までの作品と合わせることで新しい空間表現ができたと思います。

実は藝大修了作品に同様の表現を使っていたのですが、約二十五年経った今の作品との比較も面白いですね。

モチーフになる植物は、いろいろな花の資料を形の記憶としてス

第20号 目次

- 02 受賞教員インタビュー
小椋範彦
- 04 TOPICS
美旬 藝大デザインプロジェクト
音旬 藝大21「アジア・躍動する音たち'09」
映旬 アニメーション専攻
公開講座「馬車道エッジズ」
- 08 第1回 藝大ビープル
宮田亮平 学長
- 10 展覧会&演奏会
シャガール・ロシア・アヴァンギャルドとの出会い
／コレクション展
- 12 上野の寄り道 散歩道 第1回
上野公園の銅像
- 14 上野の杜の波瀾万丈 第9回
戦中の教官総辞職 吉田千鶴子
- 16 第3回 受賞学生インタビュー
山本真衣 尾池亜美 船曳真珠
- 19 教員は語る 第12回 藝大への期待・抱負・提言
ヨコミヅマコト×野平一郎
- 22 NEWS2009.8～2010.1
編集後記



わりがいまきえおうかもんかざりぼこ
『割貝蒔絵桜花文飾箱』

ケッチャや写真などで記録してあります。これまでの作品では梅、桜などの花すべてが咲いている状態で文様として構成していましたが、今回の作品では、桜の花が自然に咲いている風景の一部分を構成して制作しました。

漆の魅力について

何とも言えない神秘的な黒の艶ですね。それと併せて蒔絵での金属の研ぎ出し面はとても美しいです。まず見た瞬間に「ああ、きれい」と感じてもらえるのが最も嬉しいです。漆は日本を代表する素材であり、同時に蒔絵は日本を代表する表現の一つです。さまざまな漆の質感、素材の色、輝きに興味を持ちます。漆芸の魅力を感じていただければ良いですね。



藝大通信
No.20
TOKYO GEIDAI
東京藝術大学広報誌
藝大通信第20号

編集発行

東京藝術大学藝大通信編集部

編集委員

長濱雅彦(美術学部デザイン科准教授・編集長)

斎藤典彦(美術学部絵画科日本画准教授)

檜山哲彦(音楽学部音楽文芸教授)

毛利嘉孝(音楽学部音楽環境創造科准教授)

大石泰(演奏芸術センター准教授)

アートディレクター

松下 計(美術学部デザイン科准教授)

表紙デザイン

松下 計

表紙撮影

五味由梨

制作

株式会社 平凡社

発行日

平成22年3月10日

お問い合わせ先

東京藝術大学総務課

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

電話 050-5525-2026

FAX 050-5525-2479

e-mail toiawase@ml.geidai.ac.jp

URL <http://www.geidai.ac.jp/>

小椋範彦(おぐら・のりひこ)准教授—工芸科(漆芸)
一九五八年岡山県生まれ。一九八五年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻修了。一九八五、九八年重要無形文化財保持者田口善国のもとで制作助手を務める。二〇〇二〜〇九年東京藝術大学美術学部工芸科(漆芸)非常勤講師。二〇〇九年より現職。同年「割貝蒔絵桜花文飾箱」で第五十六回日本伝統工芸展東京都知事賞を受賞。